

学校情報・入試情報

令和8年度入学者選抜用

学校（学科）情報

学校名	とちぎけんりつおやまこうとうがっこう		所在地	323-0028 栃木県小山市若木町2丁目8-51		学校HP
	栃木県立小山高等学校		電話	0285-22-0236		
課程	生徒数（R7.5.1現在）	設置学科（コース）	アクセス	JR小山駅より徒歩25分または 自転車10分 またはバス6分 （小山駅西口～小山高校前）		
全日制課程	614名 男子403名、女子211名	普通科・数理科学科				
			URL	https://www.tochigi-edu.ed.jp/oyama/nc3/		

スクール・ミッション

自己の特性や可能性を探究する教育活動を通して、社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する学校

スクール・ポリシー

育成を目指す資質・能力 （グラデュエーション・ポリシー）	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	入学者の受入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）
本校では、次のような資質・能力を育成します。 【全学科共通】 ○確かな学力と豊かな教養を身に付け、社会の諸課題を主体的に解決できる人間力を育成します。 ○自己の特性と可能性を探究しながら、現状を適確に認識して課題を発見し、他者と協働しながら解決できる力を育成します。 ○豊かな人間性を磨くため、自他を深く理解・尊重し、互いに支え合う態度を育成します。	本校では、次のような教育活動を実施します。 【全学科共通】 ○授業を第一に、確かな学力と自分の考えを明確に相手に伝え、他者の考えを理解する能力を養う教育を実践します。 ○普通科「進路探究プログラム」、数理科学科「探究学習」、「課題研究」等、大学と連携した探究学習及びキャリア教育・進路指導を実践します。 ○主権者意識を醸成し、豊かな人間性を育成できる学校行事・生徒会活動等、特別活動を実践します。	本校は、次のような生徒の入学を期待しています。 【全学科共通】 ○基礎的な学力を有し、学習に根気強く取り組むことができる生徒 ○自己実現を目指し、他者と協働しながら探究活動に意欲的に取り組むことができる生徒 ○学校行事・生徒会活動等、特別活動や部活動に積極的に取り組もうとする生徒 ○人権尊重の精神と規範意識を持ち、お互いの価値観や多様性を認めながら、前向きに高校生活を過ごすとする生徒

特色選抜情報

定員の割合	出願するための資格要件	選抜の手順等
【全学科共通】 20%程度	【普通科】 人物に優れ、基本的な生活習慣が身に付いており、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者 (1) 中学校における各学年各教科の学習成績が優秀で、大学進学という明確な進路目標をもち、本校入学後も意欲的に学習に取り組むことができる者 (2) 中学校における各学年各教科の学習成績が良好で、部活動や生徒会・特別活動等や、地域での文化・スポーツ等において顕著な実績をもち、本校入学後も学習と両立させながら、それらの経験を生かして活躍できる者 【数理科学科】 数学・理科に強い興味・関心をもつとともに、人物に優れ、基本的な生活習慣が身に付いており、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者 (1) 中学校における各学年各教科の学習成績が優秀、又は、数学・理科の成績が極めて優秀で、理数系の大学進学という明確な進路目標をもち、本校入学後も意欲的に学習に取り組むことができる者 (2) 中学校における各学年各教科の学習成績が良好、又は、数学・理科の成績が優秀で、部活動や生徒会・特別活動等や、地域での文化・スポーツ等において顕著な実績をもち、本校入学後も学習と両立させながらそれらの経験を生かして活躍できる者	【資料の取扱い】 1 志願理由は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。 2 調査書については以下のように扱う。 ① 「各教科の学習の記録」（第1学年から第3学年）の評定を合計する。（135点満点） ② 数理科学科については調査書の数学・理科の学習の記録（第1学年から第3学年）の評定を合計する。（30点満点） ③ 調査書の点数化されない部分で、資格要件に関わる部分（普通科・数理科学科とも）については段階評価を行う。 3 面接及び小論文は、段階評価を行う。 【選抜の手順】 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。 第1次審議 【普通科】 【資料の取扱い】の2の①で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の定員の50％以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者の50％以内にある者）で、【資料の取扱い】の3の評価が優秀又は良好な者を合格内定とする。 【数理科学科】 【資料の取扱い】の2の①で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の定員の50％以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者の50％以内にある者）及び【資料の取扱い】の2の②で点数化した数学・理科の合計点数が極めて優秀で、【資料の取扱い】の3の評価が優秀又は良好な者を合格内定とする。 第2次審議 【全学科共通】 第1次審議において合格内定となった者を除いたすべての受検者を対象に、【資料の取扱い】2の③の評価が特に優れており、【資料の取扱い】の3の評価が優秀又は良好な者から、合格内定者を選抜する。 第3次審議 【全学科共通】 第1次審議、第2次審議において合格内定となった者を除いたすべての受検者から、すべての資料と検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。
選抜の方法		
○面接 個人面接 時間 10分程度 ○小論文 時間 50分 字数 600～800字		
その他・特記事項		
・数理科学科は、本県唯一の理数系学科である。 ・令和7年度重点強化拠点校（競技：剣道（女子）） ・令和7年度強化推進拠点校（競技：剣道（男子）、ウエイトリフティング（男子・女子）） ・令和7年度普及育成推進拠点校（競技：バスケットボール（男子））	※ 顕著な実績とは以下のいずれかに該当することである。 Ⅰ 体育的活動（全学科共通） ・優れた能力を持ち、中心選手として顕著な実績を残した者 Ⅱ 文化・学術的活動（全学科共通） ・中心となって活動し、優れた実績を残した者（数理科学科） ・数学や理科関係の学術的活動において優れた実績を有する者 Ⅲ 生徒会等特別活動（全学科共通） ・優れたリーダーシップを発揮した者	

一般選抜情報

選抜の方法	学力検査・調査書				
学力検査と調査書の評定の比重	学力検査		調査書		
	8		2		
学力検査	国語	社会	数学	理科	外国語（英語）
学力検査配点	100	100	100 (数理科学科150)	100	100
傾斜配点					

栃木県立小山高等学校